

## 平安朝文学研究会 2020年度 第1回研究発表会

日 時 2020年9月26日(土) 14時より《遠隔会議システム Zoom 利用による開催》

\* Zoom の利用方法などに関して、14:00 より事務局が短時間で説明いたします。

\* 今般の委員会・総会については、別途、審議をお願いすることといたします。

研究発表 (14:10~16:25)

荒井 洋樹 (早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程)

### 『うつほ物語』大后宮六十賀屏風攷

『うつほ物語』菊の宴に描かれる大后宮六十賀屏風には、「右大将」を筆頭に貴顕が詠進し、和歌史的にも注目に値する。本発表では、『うつほ物語』の中で当該屏風が果たす役割を明らかにする。また、その和歌にも独自の表現が多く見え、それについても精読したい。

李 賢秀 (早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程)

### 『源氏物語』「蓬生」巻における「松」と「藤」

源氏と末摘花が久しぶりに再会する場面には、大和絵屏風の類型的な図柄として広く享受された「松にかかると藤」がみられる。この絵画的な描写には、平安時代の文化的記号としての象徴性が潜んでいると予想される。本発表では、『源氏物語』「蓬生」巻における「松」と「藤」の意味について考察する。

### ◆ 研究発表会へのご参加の申し込みについて

遠隔会議システム Zoom を利用した研究発表会への参加をご希望の方は、**事前予約が必須**です。ご参加をご希望の場合は、9月23日(水)までに、事務局(jinno@waseda.jp)まで必ず電子メールでお知らせください。簡潔な要件のみのご連絡で結構です。

なお、平安朝文学研究会の会員以外の皆様のご参加も受け付けますが、電子メールでのお申し込みの際に、必ずご所属を明記してください。

お申し込みをなさった方には、事務局より留意事項などを記したメールを返信いたします。

お問い合わせ先 平安朝文学研究会 事務局 (早稲田大学文学学術院 陣野英則研究室内)

E-mail : jinno@waseda.jp